

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 東ぼっぼご〜んクラブ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日	～	令和7年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日	～	令和7年3月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	東特別支援学校のプレイルームを主な活動場所として使用しているため、広い空間でのびのびと思いきり身体を動かして過ごせる環境が整っています。 晴れた日には、校内の中庭やグラウンドに出て、ブランコやシーソーなどの遊具で遊んだり、四季の自然に触れて楽しんだりすることができます。	子どもの状況や活動に合わせて、部屋のレイアウトを行っています。テントやパーテーションを使用し、あそびのスペースと静かにくつろげるスペースを分けることで安全で安心して過ごせる環境設定に努めています。 夏休みには水あそび、冬休みには雪あそびを行い、戸外での活動を取り入れています。	活動場所からの飛び出しがないよう、全体を確認する職員を配置するなど子どもの特性に応じた職員体制の工夫を行います。 小さな部品やごみなどを誤って口に含んでしまわないようこまめな掃除や遊具・玩具の安全点検を行います。
2	学校内で活動しているため、東特別支援学校の先生方と情報を共有し、統一した支援を行うことができます。	受け入れの際に担任教諭から子どもの学校での様子やその日の活動、体調面(睡眠や排泄)などについてお聞きし、引き継ぎ事項を職員間で共有し、支援に活かしています。 統一した支援を行うことで子どもたちに混乱が生じないよう配慮しています。	学校の行事(作品展、体育参観、避難訓練など)に積極的に参加したり、授業の様子を見学させていただいたりして、学校との連携を図ります。 東ぼっぼご〜んクラブでの活動の様子を先生方にも知っていただけるよう、東ぼっぼご通信での活動写真や子どもたちの作った壁面制作を廊下に掲示します。
3	子ども一人ひとりの発達段階を理解し、個々の特性や能力に応じた活動プログラムの立案を行なっています。	発達段階に合わせたあそびの展開ができるよう、制作活動ではさまざまな素材や材料を用意したり、作業工程を分ける工夫を行ったりしています。 ムーブメント教育・療法を取り入れ、子どもがワクワク感を持って自発的に活動に参加できるよう活動の提案を行なっています。	アセスメントツールや行動観察シートを適切に活用し、行動分析を行なった上で子どものニーズや課題、発達過程に合った関わり方や支援を目指します。 職員は意欲的にムーブメント教育・療法研修や強度行動障害支援者養成研修を受講し、専門的な知識やスキルの習得を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流の場や公共施設への外出の機会を設けることが難しい状況です。	送迎車がないため、徒歩で出向ける地域の施設に限られています。 以前は地域のボランティアの受け入れや近隣の中学生との交流の機会がありましたが、コロナ禍より休止しています。	近隣のコンビニやスーパーでの買い物体験や公園でのごみ拾い活動の機会を取り入れ、地域との交流の場を広げていきます。 長期休暇時には、法人の車でドライブや外出の機会を作れるよう出来る限り調整していきます。
2	父母の会や保護者会等の開催ができず、保護者同士の交流の機会を設けることができませんでした。	開催日時や開催場所の調整が難しい状態です。	今後、保護者の方からのご要望がありましたら検討し、計画をして参りたいと思います。
3			